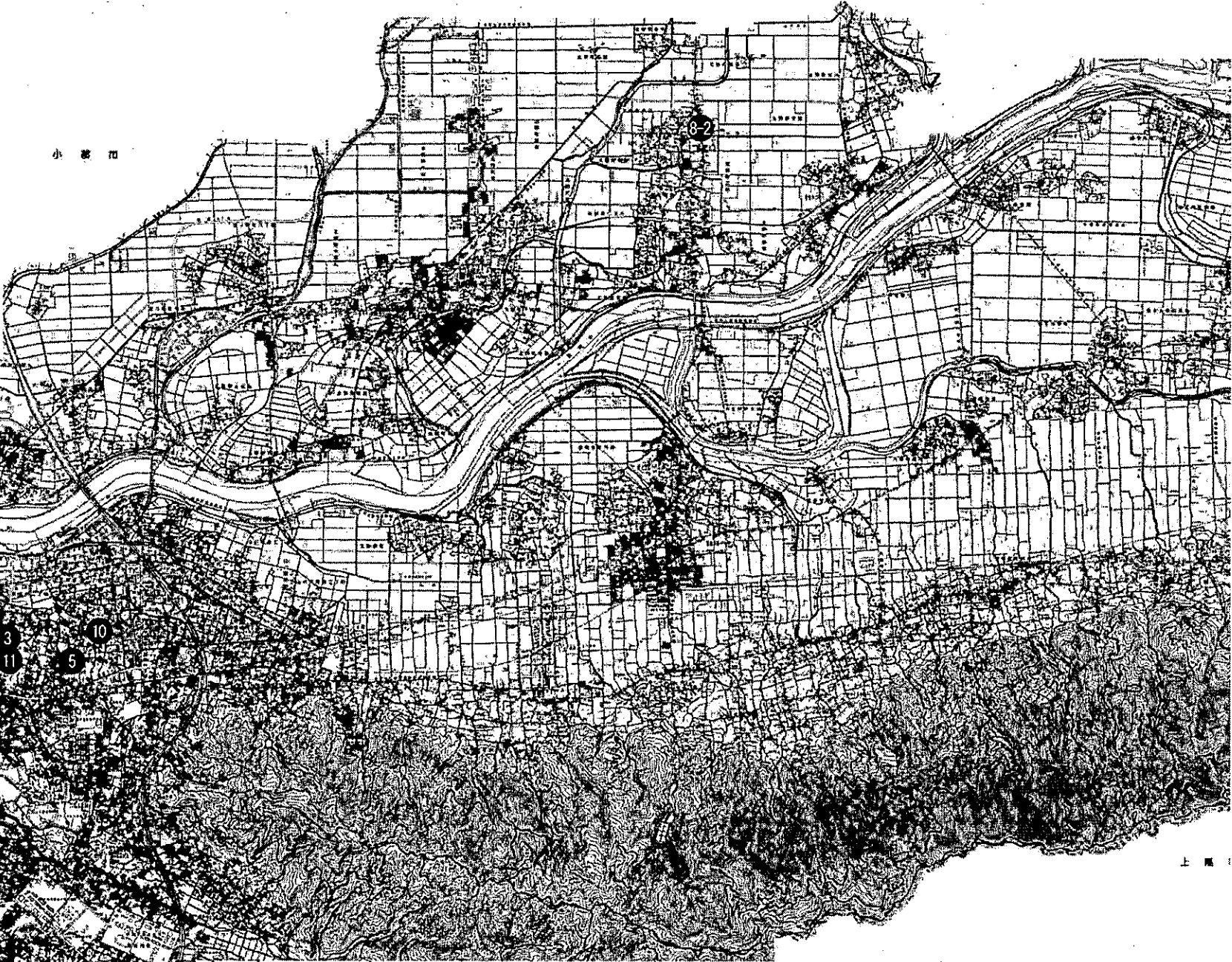


令和6年度 発掘調査地一覧

No.	調査番号	遺跡名	調査期間	調査原因	担当者
①	202313	安武三反野遺跡第8次調査	令和5年11月13日～	道路建設	西
②	202401	久留米城下町第32次調査	令和6年4月15日～令和6年6月7日	共同住宅	廣木
③	202402	筑後国府跡第316次調査	令和6年4月15日～令和6年5月16日	店舗建設	長谷川
④	202403	野瀬塚遺跡第6次調査	令和6年5月29日～令和6年6月14日	確認調査	河野
⑤	予定	筑後国府跡上地区(Ⅲ期政庁北)	令和6年9月頃から	共同住宅	小川原



令和6年度調査地位置図 (1/25,000)



令和6年度 刊行予定報告書一覧

No.	巻次	報告書名	収録調査	刊行年月
⑥	第453集	安武遺跡群4	安武三反野遺跡第7次調査	令和7年2月
⑦	第454集	京隈侍屋敷遺跡	京隈侍屋敷遺跡第32次・第33次調査	令和7年3月
⑧	第455集	令和6年度久留米市内遺跡群	1:高三瀨遺跡第14次調査 2:赤司定格遺跡第3次調査 3:筑後国府跡第314次調査 4:東櫛原今寺遺跡第10次調査 5:筑後国分寺跡第46次調査 6:野瀬塚遺跡第6次調査	令和7年3月
⑨	第456集	鬼木遺跡	鬼木遺跡第3次調査	令和7年3月
⑩	第457集	へボノ木遺跡	へボノ木遺跡第76次調査	令和7年3月
⑪	第458集	筑後国府跡	筑後国府跡第315次調査	令和7年3月
⑫	第459集	御供田遺跡	御供田遺跡第2～4次調査	令和7年3月

田主丸古墳群の追加指定について

追加された古墳群 益生田古墳群

所在地 久留米市田主丸町益生田 2275 - 3 外

追加指定面積 8033.70 m² (総指定面積 28,075.10 m²)

調査期間 20210415～20240330

調査面積 14,000 m²

田主丸古墳群 田主丸大塚古墳 寺徳古墳 西館古墳
中原狐塚古墳 益生田古墳群

位置と環境

益生田古墳群は久留米市田主丸町の南部に横たわる耳納連山の麓、扇状地上の標高 100m 付近に立地する。今回対象となった古墳群は、益生田古墳群の A 群として周知されている。A 群の南に B 群、南東に C 群が分布し、総数 90 基以上が確認されている。

検出遺構

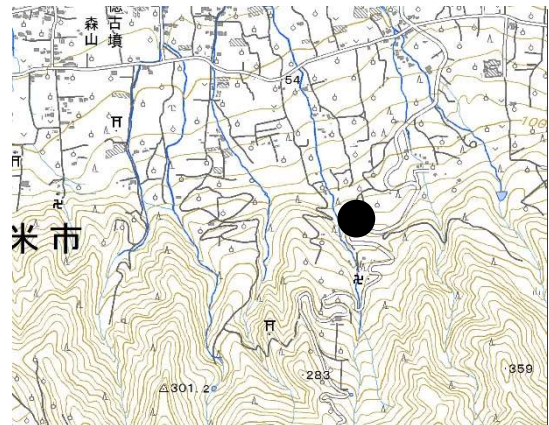
調査対象地とした範囲には、調査済を含め 24 基の古墳が残っている。石室の構造は、複式構造の横穴式石室が 10 基、単室構造の横穴式石室が 6 基、構造不明 8 基であった。

その中で A 群 12 号墳は、土石流によって埋没している状況で発見された。石室奥壁には、敲打による人物や格子文の装飾文様が花崗岩に施されている。

所 見

敲打の装飾については、古墳時代の所産であるか議論となったが、彩色系の装飾との構図類似性や、西館古墳の人物と 12 号墳の人物の表現が似ていることから古墳時代のものと判断された。

益生田古墳群が、装飾古墳を含む群集墳として評価されることとなり、田主丸大塚古墳を頂点とする階層構造の中で、敲打による装飾が、階層的に下位に位置付けられる群集墳において成立したことを示すとともに、装飾においても階層構造が認められる点が評価され、A 群 12 号墳を含む益生田古墳群を田主丸古墳群に追加することとなった。



追加指定地位位置図



12 号墳遠景 (北上空より)



12 号墳玄室奥壁 (西より)